

プライベートパラダイム

金野武司 著 早川宏美 装幀・装画

じぶんの見ている青と、あの人の見ている青は、
本当に同じ色だろうか？

正しさだけでは通じ合えない。理屈だけでは割り切れない。
すれ違いの痛みを越えて、じぶんだけの枠組みを創出せよ！
単なる知識じゃない。机の上の学問じゃない。
AIの言葉があふれる時代を、他者と共に生き抜くための人間論。



目次

I 準備

- 01 この本に書いてあること
- 02 役に立つこと、そして人間とは何か？を問うこと
- 03 科学が支える価値観。非科学の排除を超えて

II 描出

- 01 人間は何者か？
- 02 人間らしさを生み出す道具＝言語
- 03 信頼はどこから来るのか？
- 04 意図を持つこと
- 05 その推論、論理的に正しくないです
- 06 意味を創造する「思考の道具」
- 07 人間が得たものは？
- 08 「(人間に特有の) 自由」を脅かすもの
- 09 我々は何が自由なのか？
- 10 自由について、もう一つ
- 11 我々はどんな状況に置かれているのか？
で、プライベートパラダイムって何なのさ？

III 適用

- 01 コミュニケーションがずっと難しいのはなぜ？
- 02 えいごがちっともわかりません
- 03 やりたいことが見つからない
- 04 集団になじめない私は、社会の不適合者ですか？
- 05 人間らしさの本質は人工的に作り出せるのか？
おわりに。プライベートパラダイムは何のために？

プライベートパラダイム用語集
著者紹介

コラム

- 01 おやじ、博士の学位を（魔境と知らずに）取りに行く
そして複雑系に出会う
- 02 おやじ、人間とロボットの違いを哲学者と議論する
- 03 おやじ、言語の起源を考える

著者プロフィール

金野武司（こんの・たけし）

1976 年生まれ。金沢工業大学情報理工学部准教授。専門は、認知科学、言語進化、知識科学、実験記号論、ヒューマン ロボット インタラクション、共同注意、意図共有。

早川宏美（はやかわ・ひろみ）

デザイナー／イラストレーター。グラフィックデザイン、イラスト、手書きの文字を活かしたデザインが得意技。本書では、装幀以外に装画および本文デザインも担当している。

ご注文申込書	●取次店・書店名	●注文数	●発行 〒525-0067 滋賀県草津市新浜町 8-13 さいはて社 TEL: 050-3561-7453 https://saihatesha.com
		冊	金野武司 著 早川宏美 装幀・装画 プライベートパラダイム A5 変形判並製／208 頁 定価 2,000 円＋税 ISBN 978-4-911784-00-6 C0010 ¥2000E

●全国の書店でお求めになれます。書店様へ、ご注文は JRC まで(FAX: 03-3294-2177)